

市民協働事業 相互評価シート

■ 市民協働事業の概要

事業名称	国際都市としての横浜の強み分析及びプロモーション映像制作事業	
事業の実施者	団体等	学校法人慶應義塾 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科
	行政	横浜市
事業の目的	横浜らしさや魅力をPRし、イメージアップを図るための映像を制作すること	
事業の内容	① 国際都市としての本市の強み（ハード面・ソフト面）の洗い出し及び分析 ② 映像の制作（企画、撮影、編集／音楽の制作／成果物の制作）	
役割及び責任分担等	<p>[団体等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際都市としての横浜の強み分析 映像の企画、撮影、編集 音楽の制作 成果物の制作 <p>[行政]</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像の企画及び撮影補助 市の施策や市内施設等について必要な情報の提供 市内施設及び関係機関等との連絡調整 	
実施期間	平成 25 年 9 月 20 日から平成 26 年 3 月 20 日まで	

記入日	平成 26 年 6 月 16 日
記入者	<p>[団体等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 団体等名： 学校法人慶應義塾 慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 記入責任者 氏 名：太田直久 連絡先：045-564-2491
	<p>[行政]</p> <ul style="list-style-type: none"> 部署名： 政策局国際政策課 記入責任者 氏 名：国際事業担当課長 内山 幹子 連絡先：045-671-3826

■ 事業実施プロセス相互チェックシート

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	できた	できなかった
○	△	×

①事業計画段階

		団体等	行政
1	自分たちが達成すべき大きな目的やミッションについてよく話し合うことができましたか。	○	○
2	お互いの立場や組織の違いを話し合っよく理解することができましたか。	○	○
3	ニーズを把握して共有するとともに、この事業の目標と実施方法を話し合っ決めてことができましたか。	○	○
4	実現のためにそれぞれが何をできるかを考え、話し合っ役割分担を決めることができましたか。	○	○
5	会計のルール等、お互いの組織内部の取り決めについて、説明し合っよく理解することができましたか。	○	○

②事業実施段階

		団体等	行政
1	率直な意見交換のもと、お互い対等な立場で事業を進めることができましたか。	○	○
2	お互いの強みや得意分野を、どう生かし合えるかを考え、提案しながら取り組むことができましたか。	○	○
3	相手に任せきりにせず、お互いが役割を自覚して積極的に取り組むことができましたか。	○	○
4	事業の進捗に応じて、目標、ニーズ、対象、実施方法などをふりかえり、修正しながら取り組むことができましたか。	○	○

③ふりかえり段階

		団体等	行政
1	協働することで、単独でおこなうのに比べてどのような効果が得られたか、話し合っ共有できたか。	○	○
2	期待された事業成果を得られることができたか。	○	○

■ 事業評価相互検証シート（自由記述）

協働によってそれぞれの達成すべきゴールを理解し、協力してそれに向かって事業を進めることができた。予想以上の成果を挙げることができた。（学校法人慶應義塾 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科）

それぞれの強み、リソースを活かしながら、本市の強み分析及びプロモーション動画の制作を進めることができた。制作プロセスにおける協働により双方の信頼が醸成され、作品の完成度を高めることができたと考える。（横浜市政策局国際政策課）